

2011「がんばっています東北！」 「元気で行こう日本！」



第11号

NPO法人かなぎ元気倶楽部 新聞 TEL 54-2828 <http://www.kanagi-gc.net>
 太宰ミュージアム年間イベント情報は、太宰ミュージアム公式サイト<http://dazai.or.jp> /でご確認いただけます。
 かなぎ元気倶楽部の事業はHPのダウンロード>元気倶楽部カレンダーをご確認ください。

NPO月間第1弾 津軽民謡SPDコンサート

11月6日(日)津軽三味線会館にて、津軽三味線の巨星木田林松栄の生誕100年を記念したSPDレコードコンサートを開催しました。コンサートには札幌市在住の民謡研究者、高田裕さんを解説者としてお招きし、林松栄による三味線独奏や初代津軽家すわ子、梅田豊月らによる貴重な戦前の録音盤をゼンマイ式蓄音機で再生。会場に集まった民謡ファン約70人が蓄音機から流れる名手の演奏と高田さんの解説に耳を傾けました。



NPO月間第2弾 太宰治と鉄道

11月12日(土)太宰治記念館「斜陽館」にて、「太宰と森林鉄道」についての講演を開催しました。講師に青森市森林博物館専門員の草薙與雄さんを迎えて、日本で最初に開通し、最長路線だった津軽森林鉄道の古い映像をながらし、ヒバの集積地として栄えた金木町のことや、太宰治が生まれた年と、森林鉄道が開通した年が同じだったなど、森林鉄道に関する貴重なお話をしよりました。また、職員による太宰作品「鷗」の朗読も

有り、夜の斜陽館は日中とは違う神秘的な異空間でした。

NPO月間第3弾 津軽の昔話っことおしそよ

11月19日(土)蒔田地区にある古民家かなぎ元気村「かだるべえ」にて、影絵・紙芝居を使っての津軽地方に伝わる昔話し語りを開催しました。出演者達は、「送り火」「赤い櫛」「むすめのなみだ」「えばただなめこ」「ボサマと鯨」の物語を情感豊かに朗読し、皆真剣に聞き入っていました。合間には昔懐かしの五平餅が振る舞われ、最後は全員参加で手遊び歌「いちべえさん」のじゃんけん大会で大人も子供も一体化した楽しい夜でした。



ごしよがわら読み聞かせフェア2011

11月6日(土)かなぎ元気村「かだるべえ」を会場に、ごしよがわら子供読書活動推進実行委員会主催「ごしよがわら読み聞かせフェア2011」



が開催され、たくさんの子供達が参加してくれました。読み聞かせや紙芝居の後は、ヒバのたくさんなくずでリースを作り、オリジナルの飾りつけをして楽しみました。



観光ドライバークラスセミナー

11月9日(水)10日(木)かなぎ元気村「かだるべえ」にて、西北地域県民局主催「ようこそ奥津軽へおもてなし事業」観光案内力育成講座が開催されました。タクシー運転手や観光バス乗務員を対象に、西北地域を訪れる観光客へのサービスの向上を目的に行われ、受講者は真剣に地域の観光拠点やサービスの在り方を学びました。



金木南中学校閉校記念特別プログラム

9月29日(木)今年度を最後に閉校する金木南中学校の1年生37名と、南中を卒業した元気倶楽部職員6名が、かなぎ元気村「かだるべえ」を拠点とした特別プログラムを企画して楽しい一日を過ごしました。

した。プログラムは南中学校のことを「忘れないでいて欲しい」との願いをこめたもので、生徒と先生によって色塗りしたヒバのコースターを組み合わせるとカラフルで鮮やかな「南中の校章」が出来ました。お昼は皆で豚汁を作り、秋晴れのうららかな空の下で食べました。さらに、嘉瀬&喜良市限定ご当地クイズと、けん玉・竹馬・メンコなどの昔遊びや、蒔田・神原地区のオリエンテーリングで地域の歴史や文化を学びました。



金木南中学校3学年町内散策

11月2日(水)金木南中学校3年生29名が、「太宰治ゆかりの地スタンプラリー」に挑戦しました。金木町内を散策しながら神原や川倉の河原まで足を延ばして15箇所のスタンプを集めました。お昼は、激馬かなぎカレーと3種類の馬まんをお腹いっぱい食べて、ますます馬力アップ!!スタンプラリーを制覇した生徒たちは太宰治記念館「斜陽館」から、認定書(1年間の入館割引特典付)と記念写真のプレゼントが贈られました。